評価結果報告書
「共生ネットワークの分子基盤とその応用展開」

総合評価

ACCEL での研究開発推進は適切である。

本提案は、CREST により創出された菌根共生系および根粒共生系を支える分子基盤の知見とフィールドにおける栽培試験を融和することにより、世界的な課題となっているリン肥料節減や、農業の生産安定性に貢献する菌根菌利用技術の開発を目指すものである。農業史のかなり早い時期から知られている共生ネットワークを活用する事例に対し、科学的な根拠が明確になることで、新たな農業展開が期待できる。当該テーマの成果はグローバルな喫緊の課題となっているリン資源問題解決や食料の安定供給の一手段として、国際展開や将来の社会的期待に応えうるものと考えられる。

PM を中心としてグローバル展開を図るべく幅広いマネージメントを行い、生産技術から解析技術まで集約させた総合的なビジネスモデルが構築されることを期待する。

平成 26 年 12 月 15 日
研究開発運営委員会　委員長
東京大学　理事・副学長
松本　洋一郎